

令和3年度事業報告

1. 事業概要

健康で働く意欲のある高齢者が、自身の技能、経験を活かし、地域社会に密着した仕事をする事により、生きがいの充実と社会の活性化に寄与するシルバー事業は、ますます重要性を増してきており、地域社会からの期待も一層高まっています。北広島市シルバー人材センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動はもとより日常生活へのダメージが大きい中において、社会生活を維持するためシルバー人材センターとしての機能を果たす必要もあることから、令和3年度は、こうした現況を踏まえた事業運営を図ってまいりました。

このような状況変化の中、全国シルバー人材センター事業協会の「第2次会員100万人達成計画」に基づく当センターの「会員拡大計画」（平成30年度～令和6年度）により会員増加を図る必要があることから、女性会員の拡大や企業退職（予定）者層への働きかけ、退会会員の抑制などへの取組を進めていくことが重要と考え実施してきました。

しかしながら、年度当初の事業計画で実施を予定していた、「シルバーふれあい祭り」や各種講習会、イベント等の行事については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会員の健康と安全を最優先に考え、昨年度と同様にやむを得ず中止を余儀なくされる状況となりました。また、会員数についてもコロナ禍による影響を受け、前年度末比40名減の531名と大幅な減少となりました。

令和3年度は事業目標として、会員数616人、受注金額224,000千円を掲げ、会員の拡大、就業機会の開拓等に向け取り組みました。

結果は、会員数531人（入会会員数41人、退会会員数81人）、受注金額約217,710千円、就業率79.5%となりました。

令和3年度の主な事業実績を前年度と比較しますと、登録会員数は40名減少しており、受注件数、受注金額、就業延人員のいずれもがコロナ禍の影響や企業の構内草刈り業務の受注取りやめ等の要因により約5%程度減少する結果となりました。

受注金額の内、請負委任事業では、公共部門が0.6%の増、企業部門が11.5%の減、家庭部門は0.9%の増となり、請負委任事業全体で見た場合、前年度比約3%の微減となりました。就業率は派遣事業を含めると前年度より3.1ポイント高くなっております。

また、一般労働者派遣事業では、市内9カ所の事業所で派遣労働会員56人が就業し、派遣受注金額は約25,737千円で前年比10%の減少とな

りました。

令和3年度の事業運営にあたりましては、ご支援、ご協力をいただきました市民・企業・団体・北広島市並びに会員の皆さんに厚くお礼申し上げます。

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	対前年度比
登録会員数	531人	571人	▲40人	93.0%
就業実人員	422人	436人	▲14人	96.8%
就 業 率	79.5%	76.4%	3.1%	104.1%
就業延人員	39,153人日	41,075人日	▲1,922人日	95.3%
受注件数	1,907件	2,071件	▲164件	92.1%
受注金額	217,710千円	226,490千円	▲8,780千円	96.1%
請負事業	191,973千円	197,909千円	▲5,936千円	97.0%
公共	105,738千円	105,112千円	626千円	100.6%
企業	55,827千円	63,071千円	▲7,243千円	88.5%
家庭	22,598千円	22,401千円	197千円	100.9%
独自事業	7,810千円	7,325千円	485千円	106.6%
派遣事業	25,737千円	28,581千円	▲2,844千円	90.0%
公共	9,754千円	9,789千円	▲35千円	99.6%
企業	15,983千円	18,792千円	▲2,809千円	85.0%

2. 事業の実施内容

(1) 事業の普及啓発と就業機会の拡大

- ① センターの会報「ふれあい」を毎月、「ふれあい特集号」を9月及び3月に発行し、センターの事業計画や就業情報、各種講習会の予定、安全就業などを周知するとともに、各職域班の紹介や女性委員会の活動状況、年男・年女の会員紹介等を掲載し情報提供を図りました。

また、毎月発行される北広島市の広報「広報北広島」の専用スペースを活用し、入会説明会や花苗・腐葉土販売等について掲載し、会員の拡大、市民・企業などへの普及啓発に努めました。

- ② センターの社会貢献活動として、一般会員参加による「一日奉仕デー」の実施を7月に計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止としました。

市立保育園等へ花苗を寄贈し、園児と会員とが一緒に園内の花壇やプランターに植込み作業を行いました。

- ③ 5月に開催を予定していたエルフィンパーク交流広場における「第20回シルバーふれあい祭り」については、新型コロナウイルス感染症の影響から中止としました。
- ④ 10月の全国統一シルバー人材センター事業普及啓発促進月間では、10月27日にJR北広島駅前で事務局職員による街頭啓発活動を行うとともに全会員による一人一会員入会運動を実施しました。また、10月25日から10月29日までの5日間にわたり市役所5階展望ロビーにおいて木工作品展及び普及啓発パネル展示などを実施し、就業機会の拡大・会員の拡大に努めました。
- ⑤ シルバー活動センター及び大曲ふれあいプラザの指定管理者として、施設の適切な管理を行ないました。
- ⑥ ホームページは、入会案内やイベント情報など内容を随時更新しながら、新しい情報の提供及び発信、情報公開に努めました。
- ⑦ 未就業会員及び就業機会の少ない会員に対する相談を随時実施し、就業機会の提供に努めました。
- ⑧ シルバー活動センターにおいて木工班等により7月29日から7月31日までの3日間にわたり木工品等の展示販売を、さらには10月7日から10月9日までの3日間、木工班と花苗班との合同による秋野菜販売及び木工品販売会を開催しました。
- ⑨ 北海道シルバー人材センター連合会主催によるシルバーフェスティバルは新型コロナウイルス感染症の影響から中止となりました。
- ⑩ 市のボールパーク建設に伴う2023年3月新球場の開業により会員就業等に向けた企業訪問を行いました。

(2) 安全就業の推進と健康管理

- ① 安全は最優先事項です。安全就業対策基本計画に基づき「安全就業第一、事故ゼロ」を目標に事故防止対策及び安全教育の推進を図りましたが、物損事故3件、傷害事故4件が発生しました。

このことから、8月24日に第2回安全委員会を開催し、事故防止に向けた今後の取り組みとして「作業別安全就業基準」を策定し、安全対策の徹底を全会員に周知し、再発防止を図りました。

- ② 安全委員会では、7月から10月まで、安全委員と理事による就業現場の安全パトロールを実施し、就業実態の点検、安全上の注意等を行い、安全就業の指導に努めました。
- ③ 機械器具の取扱い、危険予知行動と事故防止の強化を図るため、草刈班や剪定班などの職域班を対象にした講習会の開催を予定していまし

たが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止としました。

- ④ 安全就業を推進するため、4月に安全大会及び安全就業講習会を開催し、安全就業宣言を行いました。

また、安全就業と交通安全に係る標語の募集を行い、安全に対する意識啓発に努めました。標語募集の結果、安全就業標語個人の部に36点、職域班の部に20点、交通安全標語個人の部に32点、職域班の部に17点の応募があり、優秀作品を活動センターロビーに展示しました。

- ⑤ 自動車の運転技術の向上、安全運転に向け4月に「シルバードライバー交通安全教室」、1月に、「冬道の安全運転講習会」を北広島自動車学校の協力により開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止としました。

- ⑥ 特定健診など定期的な健康診断の受診を奨励するとともに、夏場における就業時の体調管理については、特に熱中症に注意するよう呼びかけました。

(3) 適正就業

臨時的かつ短期的な就業、軽易な業務に係る就業機会を確保し、適正就業の遵守に努めました。

(4) 一般労働者派遣事業

北海道シルバー人材センター連合会北広島市事務所として一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）を実施し、派遣登録会員の就業機会の拡大を図りました。

(5) 会員の増強と知識・技能の向上

- ① 入会希望者に対して定期的に説明会を開催し、新規会員の入会促進に努めました。令和3年度に入会した会員は41名でした。
- ② 就業機会の拡大及び後継者の育成を推進するため、網戸張り・刃物研ぎ・剪定・冬囲いなど各種技能講習会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止としました。
- ③ 北海道シルバー人材センター連合会の主催による新規入会希望者への「入会説明会」を7月・10月・11月に開催しました。
- ④ 「会員拡大計画」の目標会員数の達成を目指し、計画を実現するため「入会促進の取組」やゴールド会員制度導入による「退会抑止の取組み」、「夫婦会員制度」など具体的取組事項に重点を置き、会員の増加に努めました。

(6) 組織の強化と事務局体制

- ① 理事会のほか、理事専門部会、各委員会を開催し、事業の適正な運営と組織の活性化に努めました。
- ② 地域班長連絡会議を開催し、班長及び会員から意見等をいただきながらセンター運営に努めました。
なお、地区懇談会の開催については、新型コロナウイルス感染症の影響から中止としました。
- ③ 北海道シルバー人材センター連合会や道内の各センターとの連携を図るとともに、職員として日常業務の円滑な遂行のために必要な知識、情報を得るため、安全就業推進員研修会（オンライン開催）、派遣実務担当者研修会（オンライン開催）、会計担当者研修会（オンライン開催）等に参加し、自己研鑽に努めました。
- ④ 入会説明会に理事が持ち回りで出席し、会員の生の声を参加者に伝えるなど役員が積極的に事業運営に参画しました。

(7) 会員の福利厚生

北広島市シルバー人材センター親睦会との連携を図り、日帰り研修、新年交流会など会員の交流事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となりました。

(8) 独自事業の推進

就業機会の拡大を図るため、独自事業として花苗事業・腐葉土事業・木工品事業の3事業に取り組み、販売額の増加に努めました。

花苗は、公共施設・学校関係への販売のほか、北の台ハウスでの一般販売や秋野菜の一般販売などで実績を伸ばしました。

腐葉土は、その品質が市民から高く評価されており、新聞への折り込みチラシによる予約販売や活動センター窓口での販売を実施しました。

木工品は、消費者ニーズにあった作品づくり等に好評を得ておりますが、エルフィンパーク交流広場や札幌駅前地下歩行空間での木工展示販売会については、新型コロナウイルス感染症の影響から中止としました。

このため、新たな販売機会の活路として、7月及び10月にシルバー活動センターロビーにおいて展示販売会を開催しました。

(9) 財政基盤強化対策

安定した事業の運営と経費の節減を基本に財政基盤の強化に向け、北広島市に要望書を提出し、補助金の確保や公共事業の発注など支援を要望したほか、会員及び役職員が一丸となって、企業及び一般家庭からの受注拡大を目指した就業拡大のPRに努めました。

(10) 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の対応

令和5年10月から導入が予定されている適格請求書等保存方式（インボイス制度）は、センターの経営に極めて大きな影響を及ぼすことから、安定的な事業運営が可能となる特例措置（適用除外）を求める要望活動を市及び市議会へ行いました。令和3年12月17日、市議会議定例会において国等に対する「シルバー人材センターに対する支援を求める意見書」の議決をいただきました。

以 上。